

# 政策提言への対応状況

---

中国地方整備局

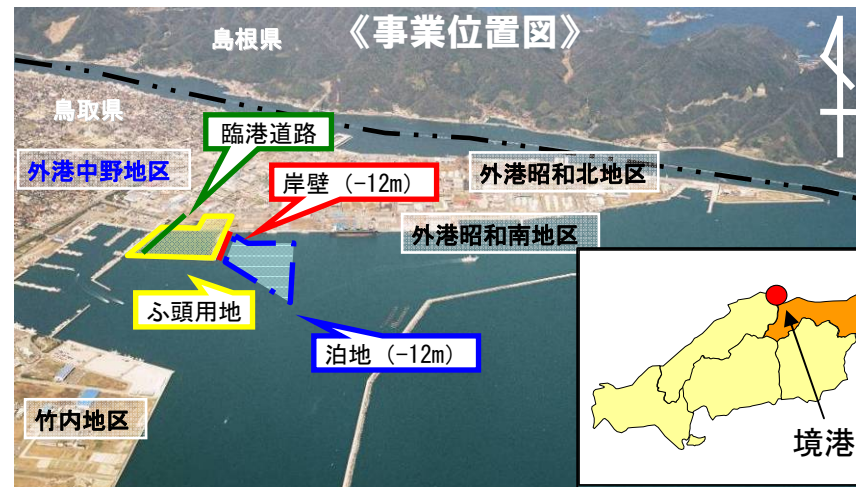
2013年1月18日

# 境港外港中野地区国際物流ターミナル整備事業の概要

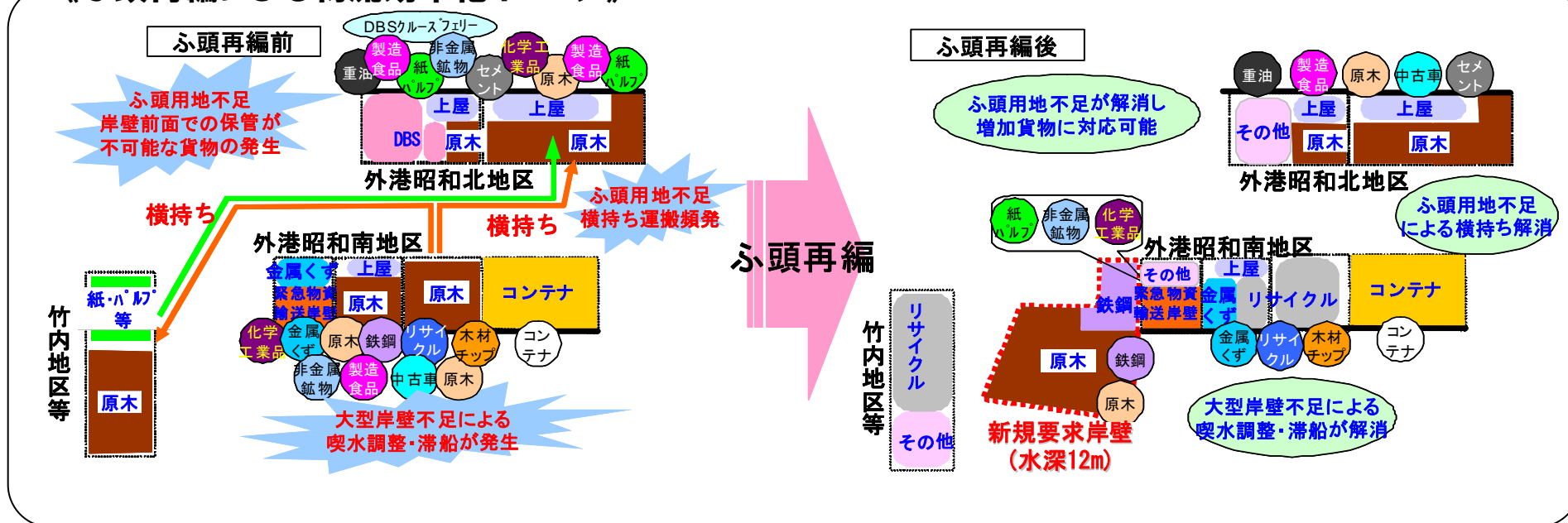
**課題** 大水深岸壁及び埠頭用地の不足により滞船、横持ち輸送が発生している。

**対応策** 大型船に対応した岸壁整備及び埠頭再編

- 整備施設：岸壁(-12m)、泊地(-12m)、臨港道路、ふ頭用地
- 事業期間：2012年度～2016年度
- 事業費：85億円



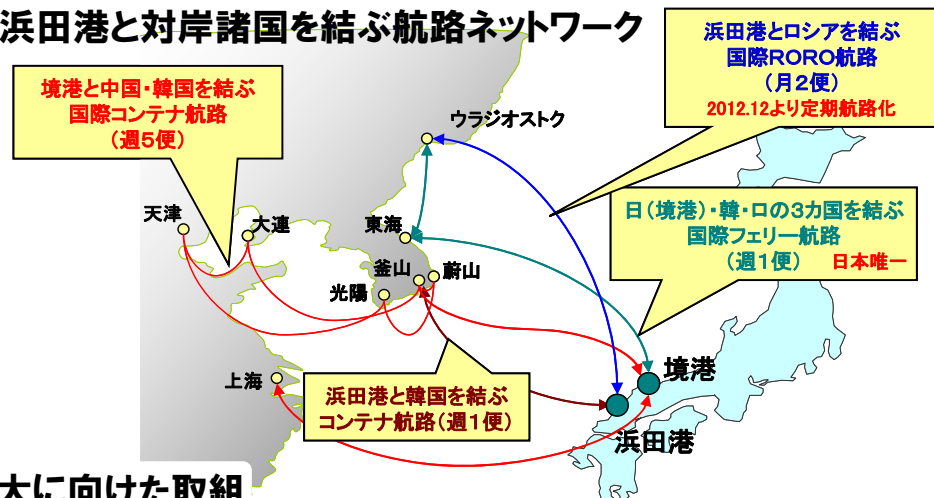
## 《ふ頭再編による物流効率化イメージ》



**効果** 物流コストの削減を通じた地域の経済社会の発展や雇用の確保に寄与する。

# 日本海対岸諸国との貿易拡大に向けた取組み

## ◆境港・浜田港と対岸諸国を結ぶ航路ネットワーク



浜田港: FESCO社RORO船 境港: DBSクルーズフェリー



写真: 浜田港振興会HPより



写真: 中国地方整備局撮影

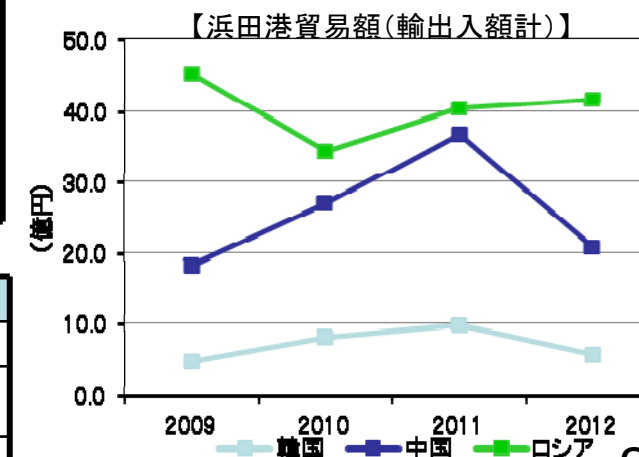
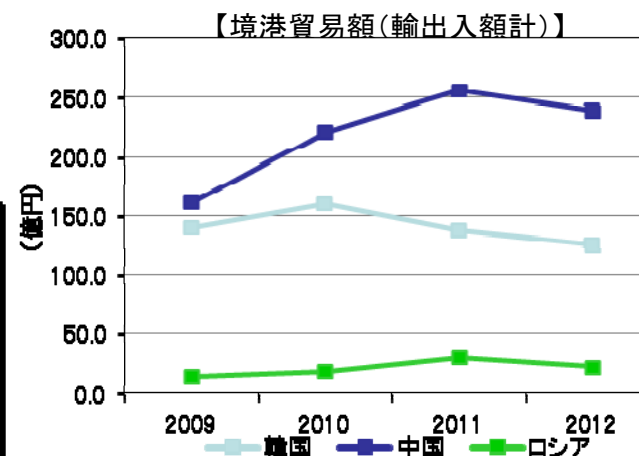
## ◆貿易拡大に向けた取組

【境港】: 境港と東アジアを結ぶ新たな物流ルート開拓を目指したトライアル輸送の実施

年度	試験輸送ルート	輸送品目
2011年度内	・境港→<DBS>→東海港→韓国国内	食品
	・境港→<DBS>→ウラジオストク港→(中露国境経由)→中国国内	雑工業品等
	・中国国内→(中露国境経由)→ウラジオストク港→<DBS>→境港	
	・中国国内→(中露国境経由)→ウラジオストク港→<DBS>→境港	雑工業品
	・ロシア極東→(シベリア鉄道)→ウラジオストク港→<DBS>→境港→<内航船>→日本国内	鉱産品
	・境港→<コンテナ船>→天津港(中国)→中国国内	リサイクル貨物(ガラス再生粉)
	・境港→<DBS>→東海港(韓国)→韓国国内	リサイクル貨物(再生固形燃料)
2012年度	・境港→<DBS>→ウラジオストク港→(中露国境経由)→中国国内	食品
	・天津港(中国)→<フェリー>→仁川港(韓国)→(陸送)→東海港(韓国)→<DBS>→境港	金属機械工業品

【浜田港】: ロシア貿易拡大に向け、官民一体となった取組を実施

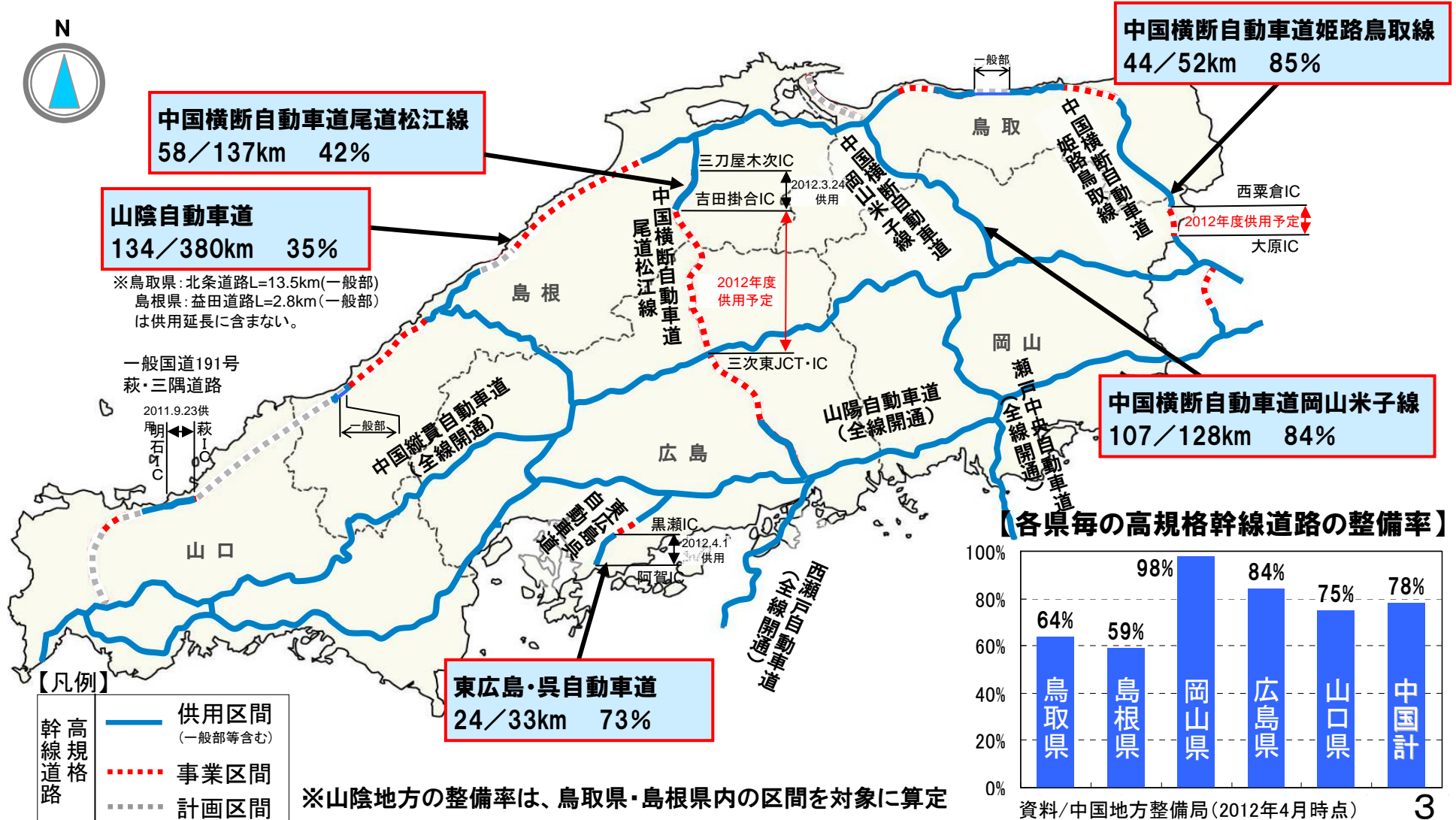
年月	事項	備考
2012.5	浜田港ロシア貿易拡大プロジェクト実行委員会設置	行政、経済関連団体、物流業者により構成
2012.6	浜田港ロシア貿易サポートデスクを開設	ウラジオストクに既設の島根ビジネスサポートセンターと連携
2012.12	浜田港とウラジオストクを結ぶ国際RORO航路の定期化(月2便)	



※財務省貿易統計より。2012年は11月迄。

# 高規格道路の整備状況

- 高規格幹線道路の中国地方の整備率は約8割であり、山陰道においては約4割弱の整備状況。
- 2011年度は、一般国道191号萩・三隅道路をはじめ、中国横断自動車道尾道松江線及び東広島・呉自動車道の一部が供用
- 2012年度は、中国横断自動車道姫路鳥取線(約9km)及び尾道松江線(約49km)が供用予定。



# 浜田港の機能強化に向けた取組（臨港道路福井4号線）

## 課題 慢性的な渋滞の発生と大規模災害時の輸送路の確保

福井地区国際物流ターミナル  
(浜田港の約8割の貨物を取扱う中心地区)

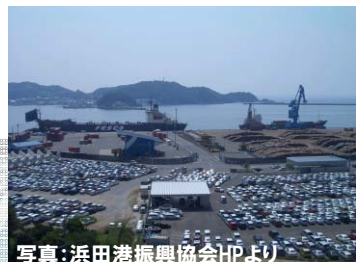


写真:浜田港振興協会HPより



## 対応策

### 臨港道路福井4号線の整備

整備内容: 2車線 × 1,500m  
事業費: 39億円  
整備期間: 2012年度～2017年度

浜田・三隅道路(山陰道)(整備中)  
(2014年度 熱田IC(仮称)～  
西村IC(仮称)供用予定)

## 効果

高速道路とのアクセス強化による  
物流コストの削減

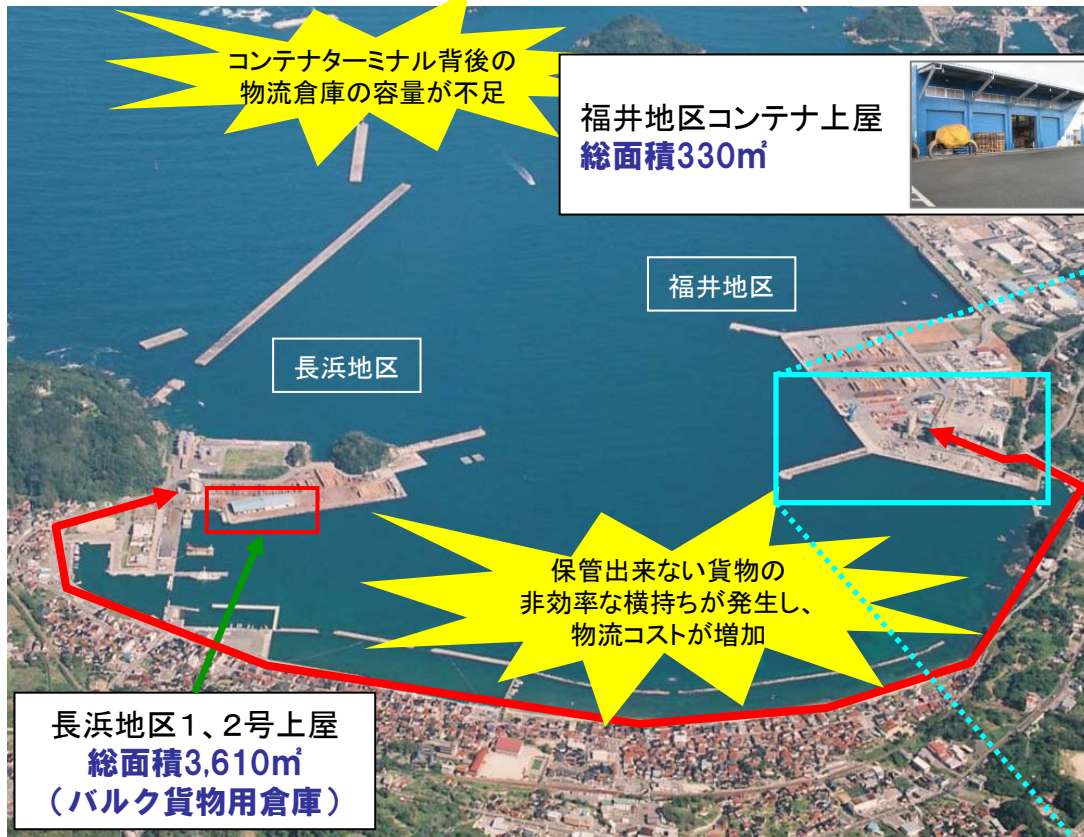
(国道9号等の渋滞軽減にも寄与)

大規模地震発生の際にも求められる  
物資輸送ニーズに対応

利用企業の更なる投資や雇用の確保  
に貢献

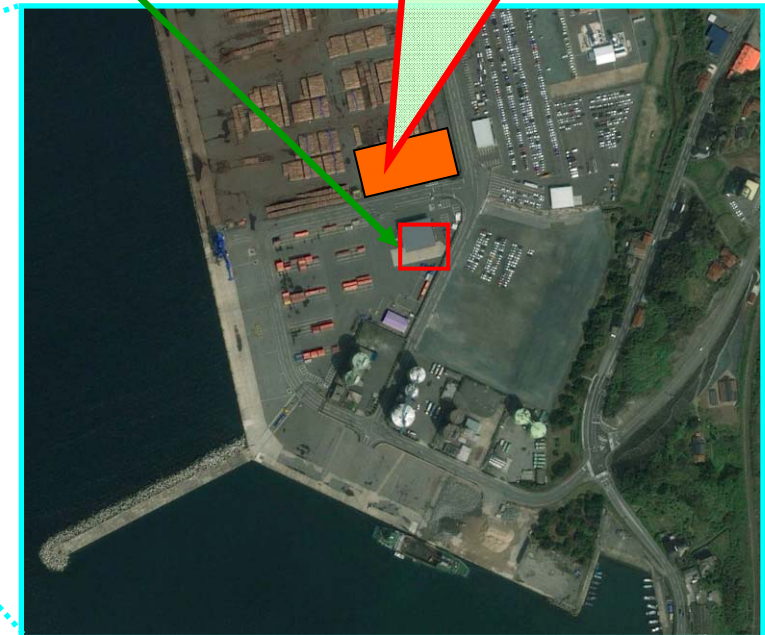
## 課題 コンテナ貨物を取り扱う物流倉庫の不足

## 対応策



## コンテナフレートステーションの整備

整備内容: 1,950㎡ (床面積)  
整備期間: 2013.4完成予定



## 効果

・非効率な輸送の解消による物流コストの削減

## ハイパー&グリーンイノベーション水島コンビナート総合特区の概要

特区目標：アジア有数の競争力を持つ我が国のモデルとなるコンビナートを構築し、経済成長と国内雇用を確保

### 規制緩和や投資促進策により3つの戦略を推進

#### 【戦略1】

<取組内容>

##### ■バーチャルワン・カンパニーの実現

高度な企業間連携による高効率・省資源型コンビナートの構築

- ・ユーティリティ共同化施設整備
- ・オフガスハイウェイ、水素ハイウェイ整備

<規制の特例措置等の提案>

- ・ガス事業法の特定供給要件の緩和
- ・電気事業法の特定供給許可要件の緩和
- ・設備投資等に対する法人税の特別償却
- ・施設整備に対する補助金制度の拡充 等

#### 【戦略2】

<取組内容>

##### ■水島港ハイパーロジスティック港湾戦略

水島港が持つポテンシャルを最大限活用可能にする環境整備

- ・国際バルク戦略港湾に選定された水島港の輸送効率の改善

<規制の特例措置等の提案>

- ・港則法及び関税法による船舶の錨泊地の利用基準の緩和
- ・とん税法及び特別とん税法の船舶の再入港時の非課税要件の緩和
- ・海上交通安全法による備讃瀬戸航路の船舶に対する航路航行制限の緩和

#### 【戦略3】

<取組内容>

##### ■グリーンイノベーションコンビナート戦略

成長産業の国内重要製造拠点（マザー工場）化

- ・環境・エネルギー分野における高機能・高付加価値製品の国内供給拠点の形成

<規制の特例措置等の提案>

- ・土壌汚染対策法の土地の形質変更に係る土壌調査要件の緩和
- ・石災法のレイアウト規制に関する手続きの地方公共団体への権限
- ・設備投資等に対する法人税の特別償却 等

構想の実現により

- ・特区区域内では、企業活動の制約となっている規制が、安全・安心や環境面に配慮した形で緩和され、アジアで勝ち抜くための様々な活動が円滑に実施可能。
- ・国内ものづくり産業の再編が進む中、250を超える事業所が活動する水島コンビナートが持続的に成長することで、2万5千人を超える雇用が守られ、更に企業誘致による新たな雇用が発生。

## 【民間による設備投資の状況】

### 上組 (株) 玉島支店

#### (設備の新設)

- ・ 設備の内容：倉庫業務用設備 (サイロ)
- ・ 施設容量：約3万トン
- ・ 投資予定額：約30億円
- ・ 整備期間：2012.3～2013.2

※2012.6 第73期有価証券報告書より。



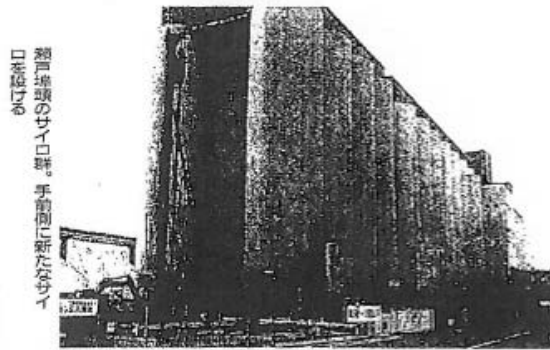
2012.8 中国地方整備局撮影

### 瀬戸埠頭 (株)

## 輸入穀物のサイロ増設

瀬戸埠頭 水島港に来春稼働

港湾運送業の瀬戸埠頭 (倉敷市見島塩生) は、トウモロコシや小麦などの輸入穀物の貯蔵用サイロを増設する。来春の稼働予定で、貯蔵能力を9万8100トンから10万9600トンと14%高める。水島港は、ばら積み (バルク) 貨物の拠点として国が集中整備する「国際バルク戦略港湾」指定で入港する貨物船の大増大が見込まれており、設備増強で輸入穀物の年間取扱量を25%増の100万トンに増やしたい考え。  
(内田光祐)



瀬戸埠頭のサイロ群。手前側に新たなサイロを増設する。

計画では、同市・水島港の9基を新設。専ら10億円。015年までに7万トンのコンテナの南東用棧橋から陸揚げした端にある既存のサイロ穀物をサイロに運ぶ能力は西日本最大級。穀に拡大される見込88基の積で、野蠻な場コンベヤーも延長す年約80万トンの輸入穀。大丸陸揚社長は「雨だった約700平方メートル。今年5月に竣工。約1000平方メートルの少ない岡山は穀物のに原価の4割、高きしており、投資額は約10億円。穀物メーカーに供給し陸揚げ基地として最

「国際バルク港湾」対応  
貯蔵能力14%アップ

たり、船や陸揚で中国産。水島港の機能強化国地方に配慮して、が順調に進め、もうる。現状でもサイロの一段の設備投資も検討空き容量は不足気味。したい工況。こころ。で、陸揚げの量を制限。瀬戸埠頭は、水島港にせよの設備がないことがコンテナの代替用カーに出荷する工業用水島港は昨年5月の増なども取り扱って、国際バルク戦略港湾指定。1000億円設立。定による航路しゅんせ。資本金12億円。売上高つなどで、入港可能な約24億円 (12年8月貨物船の最大積載量が)。従業員約1000人。現行の5万トン級から2人。

国際バルク戦略港湾 穀物 鉄鉱石 力強化を促し、国土交通省が昨年5月、全国に指定。水島港は穀物と鉄鉱石 (前11月と前10月) 指定を受けた。水島港の航路を015年までに14、20年までに11にしようとする。設備増強で強化。穀物取扱量は現行から約25%増の100万トンを目標とする。

※2012.8.4 山陽新聞



## 背景・要請

### 国際競争力の強化

- ① 水島地区と玉島地区を結ぶ経路が慢性的に渋滞
- ② 国際コンテナ貨物の増加と船舶の大型化への対応

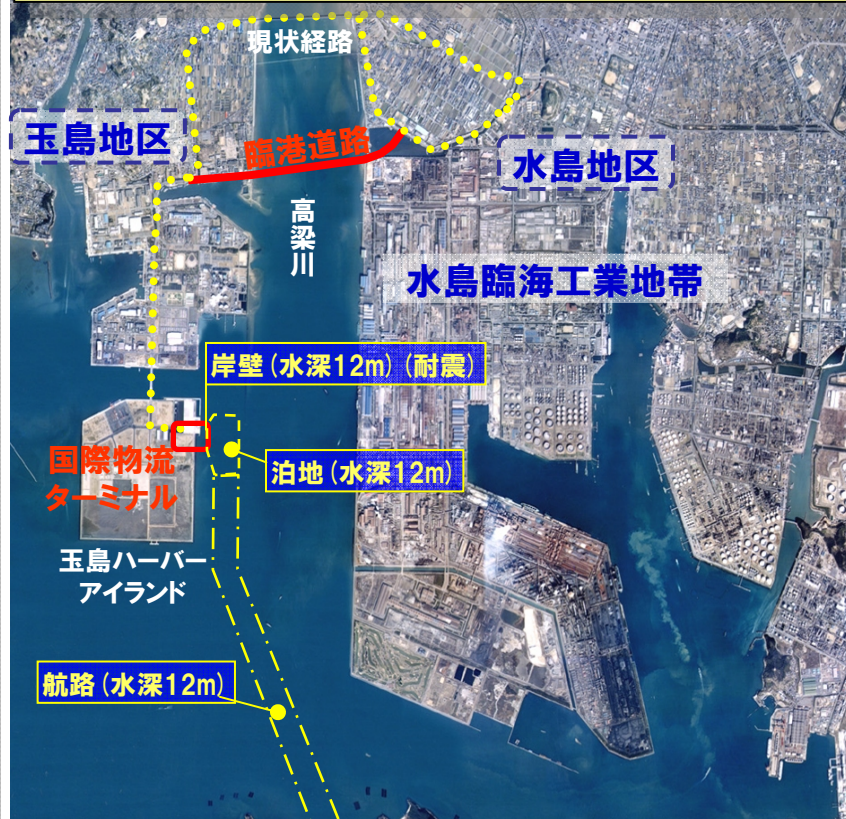


### 安全・安心の確保

- ③ 大規模地震発生時にも、継続的に産業活動を行うための物流機能の確保

## 対応

- ・臨港道路(橋梁)の整備
- ・国際物流ターミナル(耐震岸壁、航路・泊地(水深12m))の整備



## 事業の効果

### 国際競争力の強化

- ① 水島と玉島地区間の臨港交通機能の強化による輸送コストの削減(44.7億円/年)
- ② 大型船の活用による輸送コストの削減(17.7億円/年)

### 安全・安心の確保

- ③ 大規模地震発生時にも物流機能を維持し、継続的な産業活動に貢献

総事業費 560億円 (進捗率37%[2012年度末時点])  
 事業期間 2008年度～2017年度

耐震岸壁は2012年度完成予定  
 臨港道路は2016年度完成予定 8

## 民間の取組

~2012中	荷役機械等の共同化	於：出島地区
~2012	大規模CFSの整備	2012年度末完成予定
2013~	港湾運営会社の設立	出島・海田両地区の一体的な管理運営

## 行政の取組

2010.11	港湾計画の変更	港湾関連用地の拡大
2011.4	港湾法の改正	港湾運営会社制度の導入 (同年12月施行)
2011.12	港湾計画の変更	効率的な運営を特に促進する区域の指定 (港湾運営会社設立の条件)

**大規模CFSの整備**  
 整備内容：21,000㎡（床面積）  
 整備期間：2012年度末完成予定

**荷役機械等の共同化**



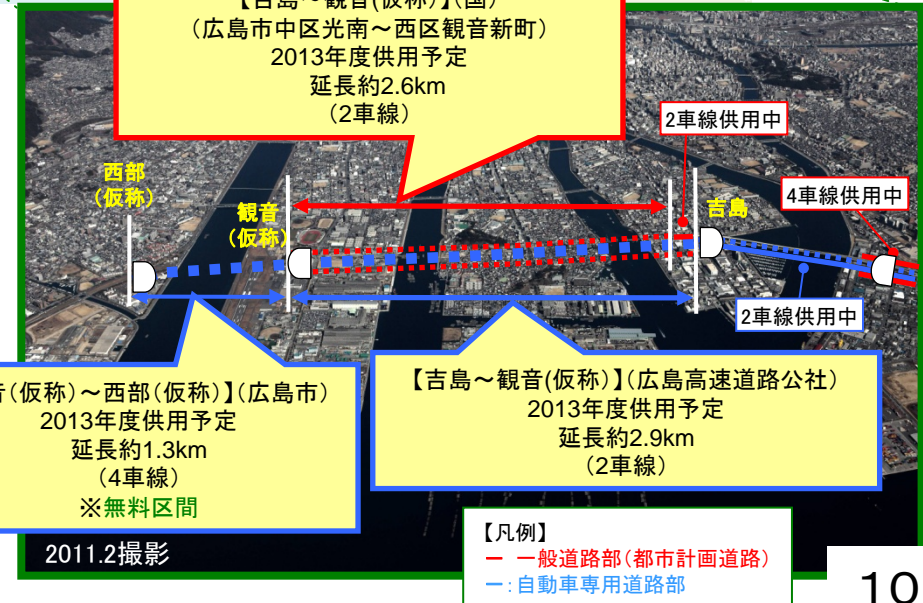
港湾運営会社を設立し、民の視点による効率的なコンテナターミナルの管理・運営の実現

→ **コンテナ取扱コストの縮減**

# 臨港道路の拡張と広島南道路の整備促進

○国、広島県、広島市、広島高速道路公社が連携し、整備促進中。

○2013年度に、一般道路部吉島～観音(仮称)区間、自動車専用道路部吉島～西部(仮称)区間が供用開始予定。



## 課題

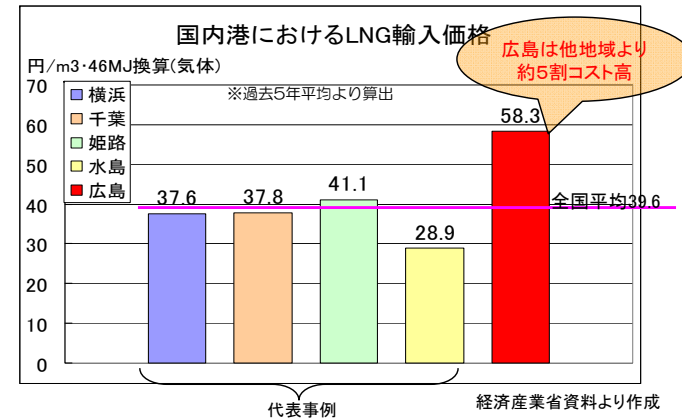
製造業用のエネルギーとしてLNGが注目されているが、広島港では、標準LNG船の入港ができないことから、他地域よりLNG輸入コストが高い。

## 対応

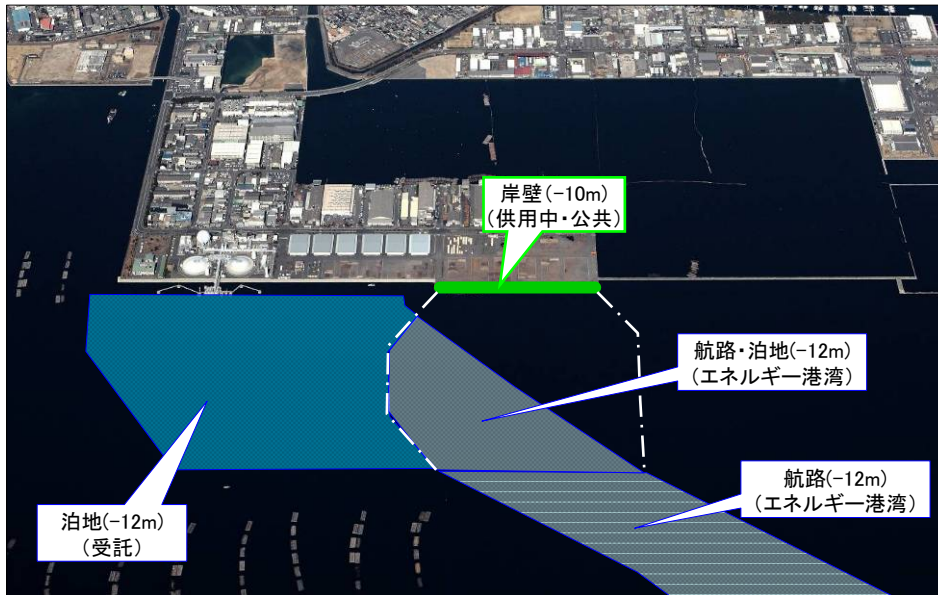
広島港廿日市地区の航路・泊地の浚渫

### 【事業計画】

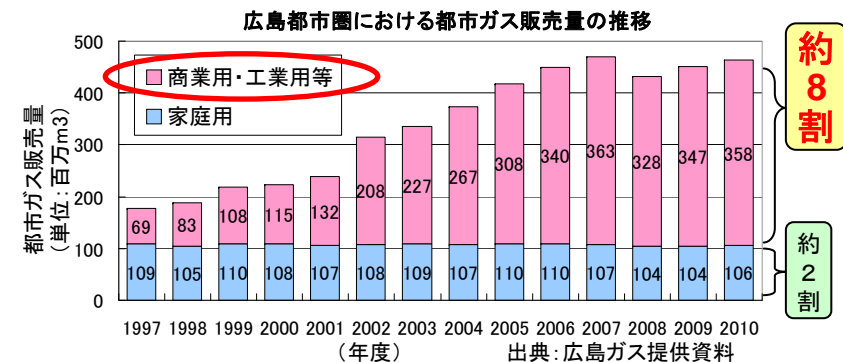
整備内容: 航路及び泊地(水深12m)  
 事業費: 74億円  
 事業期間: 2012年度～2015年度  
 備考: エネルギー港湾整備事業として実施(官民による産業投資)



広島は他地域より約5割コスト高



**主な供給先**  
 <商業用・公用>  
 ホテル、デパート、病院、飲食店、学校等  
 (ホテルグランヴィア、グランドプリンス、ANAクラウンホテル、基町クレド、広島市民病院、県病院、大学病院等)  
 <工業用> 電気機器、自動車、鉄鋼、食品工場等  
 (エルピーダメモリ、マツダ、大日本印刷等)

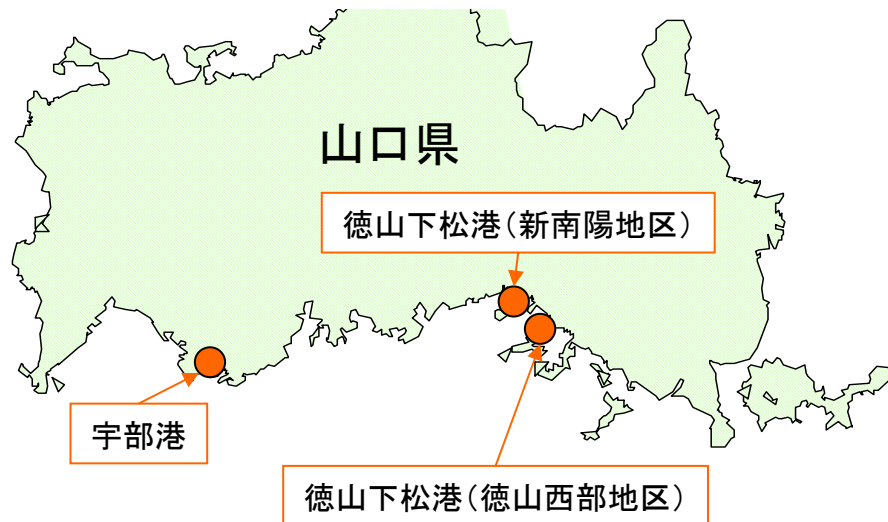


約8割

約2割

## 効果

標準LNG船の活用によるLNGの安定的かつ安価な供給を実現することで、LNGを利用する各種製造業の国際競争力の強化を図り、以て我が国全体の経済社会の発展、雇用の確保に寄与する。



## 徳山下松港 周南バルクターミナルの整備



## 宇部港 本港地区 航路・泊地整備事業



## 徳山下松港 新南陽地区 国際物流ターミナル整備事業

